

土木学会四国支部「土木紀行」No.78(香川県)

エンジェルロード

*エンジェルロードとは

瀬戸内海にある香川県で一番大きい島、小豆島には不思議なスポットがあります。それは、1日に2回の干潮時、弁天島と中余島、大余島の上に道があらわれることです。中余島と大余島は、砂州によって繋がった陸繋島であり、2つの島を結ぶ陸繋砂州はエンジェルロード（天使の道）と呼ばれています。

*小豆島の地形・地質

エンジェルロードのある小豆島は、基盤の花崗岩類の上に1300万年前から1500万年前に噴出した瀬戸内火山岩類（讃岐層群）が堆積した後、1000年以上にわたる侵食を受けて、台地上の山地が形成されています。この最高600~800mの台地から、一気に海に至る急峻な地形となっています^{1) 2)}。



写真1 エンジェルロードの遠景



エンジェルロード

図1 エンジェルロード周辺

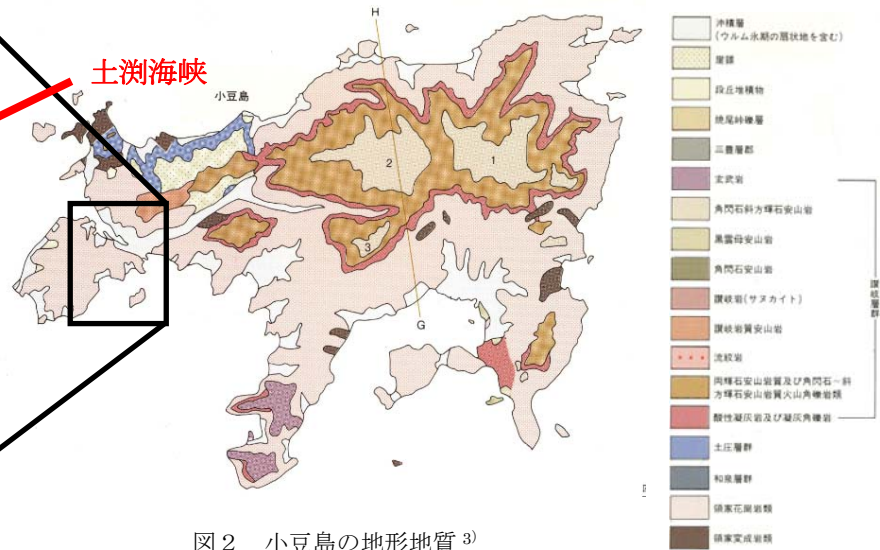


図2 小豆島の地形地質³⁾

*陸繋砂州がなぜできるのか？

海岸の前に島があると、沿岸の波や海流が乱され砂州が発達しやすくなります。そして砂州が島に向かって成長し、海岸と島を結ぶことで陸繋砂州が形成されます。この地域に砂州が発達した理由として、エンジェルロードのすぐ北側に世界一狭い土庄海峡があることが考えられます。また、瀬戸内海は干潮差が大きいことで有名であり、海流が速く、砂が多く運ばれ堆積したのではないかと考えられます。

*エンジェルロードの色の違い

写真2を見ると、エンジェルロードの西側と東側で色が違っているのが分かります。これは、砂州の東側（写真左側）には花崗岩から供給された砂が堆積して白くなり、西側（写真右側）には礫が堆積して黒くなっています。白い砂は小豆島の本土の基盤である花崗岩に由来し、黒い礫は花崗岩に貫入した岩脈に由来しています（写真2）。エンジェルロードを訪れた際には、ぜひ色の違いを見てみて下さい²⁾。



写真2 エンジェルロードの色の違い



写真3 花崗岩に貫入する岩脈（中余島）



写真4 東側の花崗岩から供給された砂



写真5 西側の礫

* 恋人の聖地

エンジェルロードは、大切な人と手をつなぎ目を閉じれば、幸せの天使が舞い降りてきて願いを叶えてくれると言われていています。エンジェルロードには、ハート型の絵馬が売られており、陸繋島に吊るす場所があります。ここは、「恋人の聖地」なのです。

また、TBSの昼ドラの「ラブレター」というドラマでもエンジェルロードは舞台となっており、主人公の2人も再三訪れています。

私はこの原稿を作成するために、実際にエンジェルロードに行ってみました。手をつないで歩く2人がいました。私は今度来るときには、大切な人と一緒に・・・と思いました。



写真6 絵馬に描かれた想い

参考文献

- 1) 巽好幸, 谷健一郎, 川畑博: 小豆島の瀬戸内火山岩類: 水中火山活動とサヌキトイド, 地質学雑誌 No. 115, 補遺, pp. 15-20, 2009.
- 2) 香川大学工学部安全システム建設工学科 長谷川研究室 (長谷川修一, 鶴田聖子): 讃岐ジオサイト堪能(1) 小豆島.
- 3) 長谷川修一, 斉藤 実: 讃岐平野の生いたちー第一瀬戸内累層群以降を中心にー, アーバンクボタ No. 28, pp. 52-59, 1989.



写真7 手をつなぐ2人のシルエット

(香川大学工学部安全システム建設工学科4年 藪内美紀)

土木学会四国支部「土木紀行」 <http://doboku7.sakura.ne.jp/kikou/kikou.htm>

土木学会四国支部 <http://www.jsce7.jp/>